

ドラフト関連速度	
総合	C+
野手	C+
投手	C+

直近の甲子園出場校	
21夏	明德義塾
22春	高知
22夏	明德義塾
23春	高知
23夏	高知中央
24春	高知

高知

7月13日(土)25日(日) 眞立春野総合運動公園野球場(ほか)

**進学校・土佐の140キロ超コンビ期待
捕手には1、2年生にも好素材が揃う!!**

投手編 土佐に潜む140キロ超コンビ

筆頭は2年連続でセンバツ出場の原動力となった平悠真、辻井翔大(ともに高知)の両右腕。辻井が最速148キロ、辻井が最速146キロと昨年より球速を伸ばし、つ質を追究している。しかし、高知は「3番手」に不安を抱えている。球速だけなら谷口隼斗が最速140キロを計測しているが、肩ヒジに不安があり登板は考えにくい。センバツ前も練習試合で多くを起用したが、平、辻井に迫る投手は皆無だった。

ただ、ライバル明德義塾はもっと深刻。本来エースとなるはずだった左腕・内山瑠偉が昨夏以来抱

えるコンディション不良からいまだ完全に抜け出せず、2年生左腕の池崎安待朗も春の四国大会で球威・スタミナ不足を露呈。本来三塁手の高橋龍成が春のエースナンバーという事実が苦しさを物語る。夏の1年生起用も噂される中、名将・馬淵史郎監督の決断はいかに。対して高知商の投手陣は充実している。最速144キロ右腕・岡村宝が故障中に屋台骨を支えた下元理巧と塩川翔馬が、130キロ中盤ながらスタミナと度胸は合格点。夏は岡村を野手スタートで、抑え起用のプランも十分考えられる。

土佐では小松起、酒井晶央の両右腕がシールド攻撃破へ腕をぶす。しかも最速142キロの本格派・小松に対し、最速144キロの酒



井は変則系だ。酒井の詳細は198ページの「なつべんっ」にて。さらに重厚な肉体から最速142キロの谷本瑞樹(須崎総合)や130キロ後半を出す安岡慶(土佐塾)、市川泰誠(小津)など、今年は例年以上に好投手が点在する。昨年甲子園1勝を挙げた高知中央の2年生左腕・横山宏伸も県外校との練習試合で好投。130キロ後半まで球速を伸ばし、連覇を視野に入れている。

野手編 夏に「らまん」と咲き誇る

昨年、同頁で紹介した市川蓮斗(高知商)と石元瑞(岡豊)が最終学年で四国を代表する捕手に成長した。特に巨大化した市川は、

高知の主な注目選手

守備	名前	所属	学年	身長	体重	投打	評価	コメント
投手	平 悠真	高知	3	183	79	右右	C+	最速148キロを初回から叩き出すようなスイッチの切り替えが次の課題
投手	辻井 翔大	高知	3	174	75	右右	C+	安定感はあるが、この1年間の成長は横ばい。軸の強化に取り組もう!
投手	岡村 宝	高知商	3	190	75	右右	C+	抜群の身体能力は魅力も故障が多い。本格化は次ステージになりそうだ
投手	酒井 晶央	土佐	3	186	95	右右	B	腕をサイドまで下げて稀少価値は爆上げ。最速144キロと球速も増した
捕手	石元 瑞	岡豊	3	165	63	右右	C	二塁送球の正確性ピカイチ。体を作り、二塁送球の早さと強さがほしい
捕手	市川 蓮斗	高知商	3	177	83	右左	C+	昨夏から体重7キロ増でスイング、打球、二塁送球に「強さ」備わった
捕手	里山 楓馬	明德義塾	1	170	71	右右	C+	2秒切る二塁送球とフレーミングにプレーの落ち着きは並の1年じゃない
遊撃手	山下 爽翔	岡豊	3	171	73	右右	C+	春の県準決勝で2打席連続弾。新基準バットで本塁打含む長打を量産中
遊撃手	芝 海斗	中村	3	172	65	右左	C+	ベースランニング含めた走塁のキレは◎。今は投手も遊撃手姿が見たい
遊撃手	山畑真南斗	明德義塾	3	167	63	右右	C+	速さと堅実性を併せ持つ侍ジャパンU-18代表候補。二塁の方が適性か?